

「ユーモアの首都」ブルガリア・ガブロヴォ市による姉妹都市提携の希望

2016年4月
在ブルガリア日本国大使館

今般、ブルガリア中央部のガブロヴォ市から、日本の都市と姉妹都市提携を希望する旨の要望がありました。以下、ガブロヴォ市の概要を紹介致します。

1 市の概要

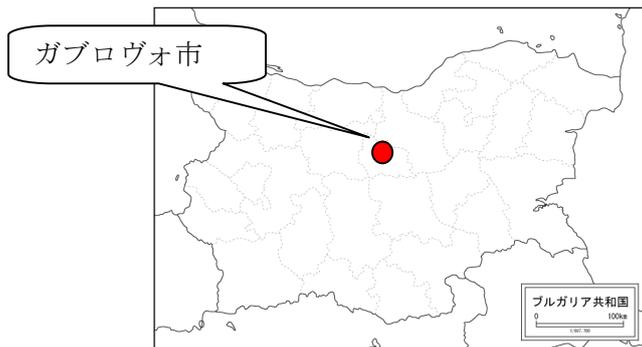
所在地・地勢:ガブロヴォ県ガブロヴォ市(東経25度31分, 北緯42度85分)

面積:233. 817km²

人口:61, 893名

日本との時差:夏-6時間, 冬-7時間

ガブロヴォ市公式ウェブサイト:<http://gabrovo.bg/en>



ブルガリア中央部のヤントラ川の河谷に位置しており、年中穏やかな気候で、四季もはっきりしています。

2 市の特徴～ユーモアの首都

ガブロヴォ市は、「ユーモアの首都」とも呼ばれており、節約家で有名なガブロヴォ人自身をテーマにしたジョークがたくさんあります。

ガブロヴォジョークで知られるガブロヴォの人々

- ・卵に蛇口をつける。丸々一個の卵を使わず、必要なときに必要な分だけ使えるように。
- ・夜、皆が寝静まったら時計の針をくくりつける。針が摩耗しないために。
- ・民俗舞踊を靴下で踊る。音を立てないことで、隣町から聞こえてくる音楽で踊るため。

・ねこのしっぽを切る。しっぽが短い分、ドアの出入りも早いので、部屋の暖気が逃げない。

ユーモア・風刺で有名なガブロヴォのシンボルは、有名なジョークにちなんで「しっぽの切られたねこ」になっています。また、同市には、「ユーモアと風刺博物館」(<http://www.humorhouse.bg/engl/gbhumour.html>)があり、ガブロヴォジョークにまつわる物の他、ユーモアに関わる絵画・カーニバルのコスチューム、彫刻、ポスター等が展示されています。

また、ユーモアにちなんだ文化行事もたくさんあります。芸術におけるユーモアと風刺の国際ビレンナーレ、全国「言い合い」大会「ブラゴラシュ」(※与えられたテーマをもとに、お話し、ジョーク、おもしろ話などを作成し、競い合うもの)、コメディ映画国際フェスティバル「Funny Film Fest」、だまし絵国際フェスティバル「金の猫」、喜劇国際フェスティバルなどです。中でも、ガブロヴォ市一番の目玉行事は、毎年5月の第三土曜日に開催される「ガブロヴォ・カーニバル」です。この仮装パレードには毎年2000名以上が参加しています。このカーニバルは1965年に初めて開催され、1990年～1997年の間一時中断されたものの、現在に到るまで続いています。



3 市の産業～「ブルガリアのマンチェスター」

ガブロヴォ市には、工場がたくさんあり、その生産物は非常に革新的であったことから、「ブルガリアのマンチェスター」と呼ばれていました。

今日でも、主な産業分野として、機械工業、部品製造、メカトロニクス、電子工学、プラスチック産業、繊維産業、靴産業、化粧品などが挙げられます。ガブロヴォ市には、ガブロヴォ工科大学があり、5000名以上の人材を育成しています。

2014年には、ガブロヴォの産業を紹介するインタラクティブ・ミュージアムが開館しました。



4 市の観光業

・屋外博物館「エタル建築・民族館」<http://www.etar.org/index-en.htm>

18世紀後半から19世紀のガブロヴォの伝統建築と手工業を紹介する総合施設。教会、家、店、工房、水車などの50施設があり、各工房では、昔ながらの手工業を体験することができます。

・スキー場「ウズナ」

ガブロヴォ市からおよそ30キロメートルの距離にあるスキー場。夏はサイクリング、ハーブ採集など様々なアクティビティも楽しめます。



・建築・歴史保存区「ボジェンツイ」

古い村の景観を保存した地区。ゆっくりと村を散策し、町並みを楽しむことができます。



5 姉妹都市に関するガブロヴォ市の意向

文化的生活が充実しており、観光が発展している人口約100名から20万名規模の都市との姉妹都市やパートナーシップ提携及び文化・教育分野での交流や公園の充実・環境への配慮等を含む都市整備，地方都市の運営等についての経験・意見の共有を希望しています。

(了)